

1人俳句3句、短歌3首、川柳3句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。**はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。**

毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（✉ koho@city.shiroishi.miagi.jp）

応募方法

俳壇山家弘子選

佐川平間木村佐藤芳香幸恵志

評一首目、たんがらとは日々に聞く。しなり木に縄を付つ筆を下ろせぬままに十三夜
今日も又熊の出没山の里
柿たわわ熊より先に収穫する
書き添いて妻の歩幅に紅葉道

か結ませた運搬用具。幼い頃のご記憶なのである。懐かしい光景が思われる。
二首目、歌人・加藤克己は何回か気仙沼を訪れていた。作者、心の宝と美しさなされた。
三首目、印象的な紫だ。竜胆群るが骨格、周辺の描写が生きている。

市民文芸



皆さんからのすてきな情報を待っています！

歌壇 岩崎聰之介選

梅摘き一枝伐りて瓶に挿す
晩秋の夜を惜しみぬ農日記
色染めて見わたす限り秋の山
芒の穂手折ればことのほか重し

秋味覚実りに感謝舌鼓
いただいて栗の煮方も教えてくれ
見惚れているのだ。

評一句目、旧暦九月十三日の夜の月を十三夜とい
す。すでに肌寒く月は澄みわたりその美しさは二つとない
と昔から言われている。余りの美しさに書くのを忘れ
た。人間を恐れなくなつた熊が増えている。



▲オンライン商談会で運営中の駅前カフェのチラシを紹介

Cafe Luna 新メニューへ 白石駅前カフェプロジェクト

12月4日、白石高校の生徒が運営するカフェ「Cafe Luna」で、新メニューをめぐるオンライン商談会が行われました。採用予定のハーブティーについて、開発元の聖光学院高校（福島県）と意見交換。試飲を通じ、県外校の地域振興の取組に触れる機会となりました。カフェは1月15・22・29日（全て木曜日）に営業します。



▲園児にササニシキを贈呈する「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」メンバーの木須敏文さん

地元のおいしいお米を味わう

白石産新米ササニシキを保育園に贈呈

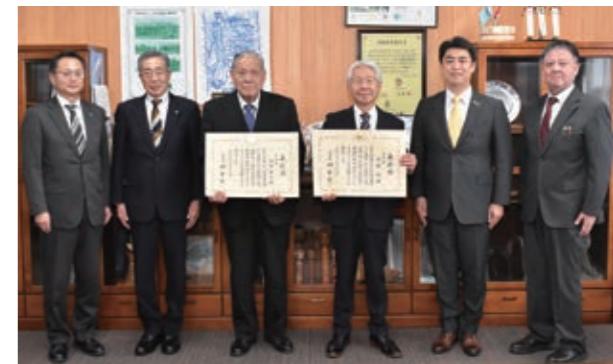
11月27日、大鷹沢保育園で「白石産ササニシキ新米贈呈式」が行われました。これは地元の農産物を知ってもらおうと、「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」が毎年実施しているもので、この日は新米2キロをプレゼント。園児たちは、新米で作ったおにぎりを試食し、「おいしい」と満足そうにはおばっていました。



▲道が分からなくなつた認知症の方に対する接し方の実演

思いやりの心を育む 認知症サポーター養成講座

11月28日、第一小学校で認知症サポーター養成講座が行われ、4年生が認知症とは何か、症状や考え方などを学びました。困っている人への悪い対応・良い対応の実演もあり、認知症の方への接し方を考える機会となりました。受講後には、地域の方が手作りした「認知症キッズサポーター」キーホルダーが児童に配されました。



▲表彰状を手に記念撮影する皆さん（左から大庭副市長、紺野白石市自治会連合会会長、阿部さん、佐藤さん、山田市長、村上副市長）

地域活性化に大きく貢献

自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰

12月16日、「自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受賞した佐藤昭さん（白石地区鷹巣自治会長）、阿部義正さん（福岡地区西区下自治会長）が山田市長を表敬訪問しました。佐藤さんは平成22年、阿部さんは平成20年にそれぞれ自治会長に就任。お二人とも永きにわたり、地域活性化に大きく貢献されております。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～



▲市内の「おいしい」が盛りだくさん！



▲店内には、たくさんの新鮮野菜が並んでいます

にぎわいの拠点「おもしろいし市場」

おもしろいし市場は、地元産を中心とした新鮮農産物や農産加工品、物産品を取りそろえています。

また、併設する「カフェ SUNSUN 小十郎」では、市内産ササニシキや旬の野菜を使用するなど、地産地消に取り組んでいます。

おもしろいし市場では、農産物や農産加工品、物産品の出品会員を募集しています。詳細は問い合わせください。

●営業日時 1月1～2日を除いて毎日9:00～18:00

おもしろいし市場 ☎26-9778

市内の農産物直売所情報▶

農林課 ☎22-1253